

[調査報告]

安倍元首相銃撃事件のニュースをテレビはどう伝えたのか

How was the shooting of Prime Minister Abe reported by the media?

村上 信子⁽¹⁾

Murakami Nobuko

ABSTRACT

This study will determine how the fatal shooting of former Prime Minister Abe was reported by the media through witnesses and local journalists. The incident took place on the eighth of July in 2022 in Nara prefecture where Abe was giving a speech in support of local counselors during the national election.

This research paper will further explore in detail how the tragic events unfolded from the perspective of the media, and how the news was broken by NHK and other TV news stations. Furthermore how footage from bystanders had an impact on how it was broadcast. To conclude it will examine how the media portrayed Abe in a positive light looking back at his career, and how other similar historical political attacks were covered by news journalists and TV stations in the past.

1. はじめに

日本の総理大臣経験者が国政選挙の選挙活動中に凶弾に倒れるという、間違いなく歴史に刻まれる大事件が2022年7月8日に発生した。その事件の第一報を前に、これまで経験したことのない衝撃が走りその様子は今でも克明に記憶している。事件発生当時、筆者は「時事ニュース研究」の授業中であつた。学生から「大変な事件が発生している」旨、ZOOMのチャットボックスで知らされ、YAHOOニュースをチェックすると「安倍晋三元首相撃たれる」の速報が掲載されていた。

2. 本研究の目的

「忘却のメディア」⁽²⁾とされるテレビ放送。中でもニュース番組、特に特番は、Tver⁽³⁾などで再放送されることは殆どない。放送済の素材はテレビ局でアーカイブとして保存さ

1) 大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科
メディアコース 専任講師 e-mail: murakami@oita-pjc.ac.jp

2) 酒井真由子・加藤隆雄著 (2017年)「テレビと視聴者の物語共同体—少年事件報道のマルチモダリティ分析を通じて—」上田女子短期大学紀要第四十号 p 73

3) TVerは民放テレビ完全局が連携した、広告付きの完全無料の民放公式テレビ配信サービス。人気ドラマやバラエティ、アニメなどを視聴できる。

れているものの、素材の管理は厳しく管理されており、テレビ局の局員ですら勝手に素材を外部にすることは許されない。例えば年末特番などでアーカイブの映像が必要な場合は、部署の責任者の署名と使用用途などを提出するなどの手続きが必要である。2022年7月8日、テレビ各局が安倍元首相銃撃事件をどう報じたのかを記録として残しておくことが本稿の目的である。事件当日、国政選挙である第26回参議院選挙の投開票日を2日前に控え、各政党関係者は応援演説など全国を駆け回っていた。安倍元首相も例に漏れず、近鉄奈良線大和西大寺駅前で応援演説中であった。その模様を背後から傍観していた（その姿は複数の視聴者撮影映像に記録されていた）山上徹也容疑者（42）の銃撃を受け凶弾に倒れた。多くの聴衆の目の前で発生した凶悪事件、午前11時42分18秒という事件発生直後から放送を開始したNHKの放送を軸に、歴史的なこの1日をテレビがどう伝えたのか。今回の事件が社会へもたらした影響は後日、歴史が判断することになると思うが、事件当日、テレビがどう報じたのか。その内容に特筆すべき事項、つまり通常のニュースと異なる事案があったのかを分析することとする。

3. 研究方法

NHKと民放4局⁽⁴⁾（日本テレビ、フジテレビ、TBS、テレビ朝日）に対して、当日の取材対応について質問事項を2022年9月下旬に一斉にメールした。日本テレビから同年10月4日に報道局担当者から返信があり、そこから事件当日の番組編成について示唆を得ることができた。放送素材については他局よりも、初動、つまり1報が早かったNHKの録画映像を視聴する形で文字起こしを行った。事件現場は奈良の大和西大寺駅前だったため、大阪のテレビ局が初動の取材にあたることになる。各局の第1報の時間は以下の通りである。（筆者の聞き取り調査による）

NHK	MBS（毎日放送）	カンテレ （関西テレビ放送）	YTV （讀賣テレビ放送）	ABC （朝日放送テレビ）
11時42分	11時48分	11時48分	11時50分	11時56分

4. 本研究の位置づけ

国立科学研究所によるCiNii（サイニィ、NII学術情報ナビゲータ、Citation Information by NII）で検索したところ、この日のテレビ放送を記録した文献を見つけることができなかった。安倍元首相の死亡後、安倍氏の残した偉業などを振り返る論文や書籍、統一教会との関係などを記した雑誌などは多く見受けられたものの、事件当日を記録する書籍は見つけることができなかった。本研究は事件そのものに焦点を当て記録することが目的である。

5. 調査方法

事件覚知後、全局の録画を試みた。筆者の住所から物理的にテレビ東京系列は視聴できないためNHKと民放4局⁽⁴⁾の放送を録画。その後、各テレビ局に放送についての質問項目をメール、日本テレビ1社のみ返答を得ることができた。

⁴⁾ 筆者が居住する大分県は現在民放3局地区であり、TOSテレビ大分は、日本テレビ系とフジテレビ系のクロスネット（曜日や時間によってどちらかを放送）である。

5-1 日本テレビ報道局担当者からの返答（一部省略）

<安倍元首相銃撃事件でのカットイン⁽⁵⁾とその後の番組の放送時間について>

■日本テレビではいわゆる「カットイン」は行っていない。

「安倍元首相 奈良県内で銃撃される」という速報スーパーを午前11時50分ちょうどに『3分クッキング』内に出したあと、『ヒルナンデス!』内でのニュース挿入の形で午後0時ちょうど頃から番組終了まで伝えた。その後も、『ミヤネ屋』、『news every.』、『NNN news every.特別版』、『NNNニュース』、『NNN news zero特別版』、『news zero』とこのニュースを伝え続けた。

<医師・首相などの会見への生乗り⁽⁶⁾の時刻>

- ・岸田首相ぶらさがり⁽⁷⁾ 1回目：『ミヤネ屋』内で午後2時47分～
- ・奈良県立医大病院会見：『news every.』内で午後6時13分40秒からCMを挟んで40分22秒まで
- ・岸田首相ぶら下がり 2回目：『news every.』内で午後6時54分52秒からそのまま『NNN news every.特別版』内の午後7時7分2秒まで
- ・奈良県警記者会見：『NNN news zero特別版』内で午後9時29分30秒から43分35秒まで
- ・このほか、銃撃現場での捜査・鑑識活動（ヘリと地上）や安倍元首相が搬送された奈良県立医科大学附属病院の様子、安倍元首相自宅前の動き、昭恵夫人の病院への出入り、捜査本部が置かれた奈良西署の動き、山上容疑者の自宅への家宅捜索などは『ヒルナンデス!』でのニュース挿入以降、動きが有り次第、随時生乗り

5-2 当日の速報スーパー（NNN⁽⁸⁾系列局への聞き取り）

ニュース速報

- 11:51～「安倍元首相 奈良県内で銃撃される」1回OA。
- 12:01～「銃撃された安倍元首相は心肺停止～警察関係者」1回OA。
- 12:03～「安倍元首相 奈良県内で銃撃される 後ろから散弾銃で撃たれた模様～警察関係者」
- 12:05～「安倍元首相を銃撃したとみられる人物の身柄を確保～警察関係者」1回OA。
- 12:28～「安倍元首相を銃撃したとみられる 奈良県在住40代の男を殺人未遂容疑で逮捕」1回OA。
- 12:30～「安倍元首相銃撃 殺人未遂容疑で現行犯逮捕 奈良県在住の山上徹也容疑者（40代）」1回OA。

5) 通常予定されていた番組放送中に突発的な大事件や大事故、大地震などが発生した場合、各テレビ局の判断で別の番組やコーナーなどの放送を開始すること（例：大地震や北朝鮮からのミサイル発射などが発生した場合、通常の番組フォーマットを急遽変更し放送）

6) ヘリコプターからの空撮映像や、地方局からキー局または準キー局などへの素材伝送、記者会見などで生配信中の素材に乗ってそのまま放送すること。急を要しない場合は事前に収録し、ノイズが入っていないかなどをチェックした後、放送するのが原則。電波の状況が悪くノイズが出たり画面が粗くなることよりも迅速性、速報性を重視する場合、生の素材をそのまま中継映像として放送

7) 取材対象者を記者が囲んで取材する形式のこと。政治、スポーツ、芸能などの場面で頻繁にみられる。被取材対象者としても、複数回取材される手間を省くことが可能

8) 日本ニュースネットワークの略。日本テレビをキー局とするネットワークの総称

5-3 NHKの放送内容（時系列で一部抜粋）

時間	NHK
静止画 12:11 スタジオ読み	速報「安倍元首相は心肺停止状態か」 糸井羊司アナウンサー きょう午前11時半頃、奈良市で演説をしていた安倍元総理大臣が倒れました。銃で撃たれたという情報もあって心肺停止の状態とみられるということです。警察は現場で男の身柄を確保して詳しい状況を調べています。
12:12	男性目撃者の声 文字スーパー「近くにいた人」 「火花だと思った。1発目ドーンなってもう1回ドーンなった。そしたら犯人らしき人がピストルではなく大きいようなものを持っておられて、すぐSPみたいな人が、ぶわーって走って4～5人でつかまえた。びっくりした」 制服姿の女子高校生とみられる2ショットインタビュー 「(安倍元首相は)普通に演説してはった。後ろから男の人が来はって、(私たちは)上で見てたんですが、1発目はおもちゃみたいなバズーカみたいなのが音だけ。倒れるとかではなく音だけすごした。2発目は火薬が見えるくらい。煙がはっきり見えるくらい。1発目撃った後(犯人は)、後ろにさがった。2発目撃った瞬間に安倍さんが倒れた。心臓マッサージなどが始まった。(犯人は)上はねずみ色のTシャツで下は黄土色のズボンをはいて、撃った後は逃げることなく、脱力してその場でとどまって、そのあとSPみたいな人たちが囲んで取り押さえられた。 0:13 字幕スーパー 現地で取材のNHK記者「当時銃声のような音が2回聞こえ安倍元首相は血を流して倒れていた」
12:15	インサート映像は静止画 及川佑記者NHK奈良(中継) 「こちらは大和西大寺駅前の現場です。11時半ごろまでこちらでは参議院選挙のとある陣営の選挙運動が行われていました。その11時半ごろでしたか、突然発砲音のような乾いたドンドンというような音が連続して聞こえまして、その最中に演説をしていた安倍元総理大臣が、発砲音の後に、私が目を見ると道路上に横たわって倒れているのが確認できました。安倍元総理大臣、胸元からは血のようなものがついているのが見えました。現場では発砲音のようなものの、発砲元、男のような人物が身柄をすぐにその場で押さえられました。発生から1時間がたっても多くの人が現場にきて騒然としています」
12:17	最新情報 スタジオ きょう午前11時半頃、奈良市で演説をしていた安倍元総理大臣が倒れました。銃で撃たれたという情報もあり消防によると心肺停止の状態とみられるということです。警察は現場で男の身柄を確保して詳しい状況を調べています。さらにドクターヘリで橿原市にある奈良県立医科大学病院に搬送する予定だということです
12:19	自民党本部から中継 政治部 小嶋 章史記者 「党の幹部は参議院選挙の応援のためこちらには誰もおりません。茂木幹事長は新潟から関西方面、高市政務調査会長は九州方面に入っております。安倍元総理大臣は今回の参議院選挙にあたって各地で応援に入っております。昨日は岡山兵庫等に入っておりまして。党本部で動きは今のところありません」
12:20 記者解説	「警察によると、取り押さえられた男は40代ぐらいでその場で逮捕され銃が押収された」。撃たれたとみられる映像「一般の人が携帯電話で撮影」白っぽい煙、近くの人が携帯電話で撮影した映像
速報	警察は現場にいた男を殺人未遂の疑いで逮捕
12:22	速報スーパー「安倍元首相 銃で撃たれたか 男を殺人未遂容疑で逮捕 銃押収 警察」アタック音
12:22	社会部森デスク 「救急搬送される際は、意識があり呼びかけにも応じていた。その後心配停止」

安倍元首相銃撃事件のニュースをテレビはどう伝えたのか

12:24	政治部徳丸記者 「安倍派の関係者の話。安倍元総理大臣は参議院選挙の党の候補者の応援のため今朝羽田空港から大阪空港経由で奈良県に入って街頭演説を行って、その後京都、夕方には埼玉に入る予定だったが、奈良県で撃たれたという状況」
12:25 政治部デスク 解説	政界の反応。岸田首相は山形県内で応援演説中。派閥の会長の一人「民主主義に対する挑戦だ。言論には言論で対抗すべき。銃などの武器を使うようなことはあってはならない。絶対に認められない。安倍元首相の無事を祈っている」
12:28	タイトルスーパー 奈良市で演説中 「安倍元首相 銃で撃たれた情報 心配停止か」
12:29 空撮映像	右上に奈良正午過ぎ（放送の30分程度前の映像）というスーパー 奈良86と書かれた救急車から安倍元首相が青いブルーシートで覆われながらドクターヘリで搬送される様子を糸井アナウンサーが実況。救急車からドクターヘリへの搬送状況。「映像は今から30分位前のもの」という実況解説
12:32	現在奈良西警察署で容疑者の男から事情を聴いている
12:34	12:12に放送した制服姿女子2人のインタビュー使いまわし 1分14秒
12:36	自民党本部から2回目の中継 小嶋章史記者 「自民党本部には誰もいません。私の後ろに幹事長室があるのですが、党の職員が情報収集にあたっているものとみられます。岸田首相はきょうは山形県などで街頭演説を行っていたが政府関係者によるとこのあと東京に戻る。茂木幹事長は新潟で街頭演説を行い今京都にむかっている。安倍元首相は、党内最大派閥安倍派の会長を務め、各地で応援を行っている。人気のある応援弁士として活動。与野党からは「民主主義への挑戦」「言論封殺は許されるものではない」という反応がでている
12:37	首相官邸から中継 政治部 今村亜由美記者 「今回の事案を受け政府は総理大臣官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置し情報の収集にあたっています。官邸では正午から各省庁の事務次官を集めた会議が行われる予定でしたが、急遽中止になり、各次官らが慌ただしく官邸を出ていきました。岸田首相はきょう午前山形県で参議院選挙の応援演説などを行いこのあと福島県と京都府を訪れる予定だったが政府関係者によると東京に戻ることにしたということです。現在首相官邸では松野官房長官や木原官房副長官らが情報収集にあたっているとみられます」
12:38 男の名前判明	社会部森デスク 逮捕された男の情報 「警察当局の発表によると殺人未遂の疑いで逮捕されたのは奈良県在住40代のやまがみてつや容疑者」容疑者のなまえは音声のみ、名前スーパーはなし
12:39	内容スーパー 逮捕（殺人未遂の疑い）奈良県在住 40代の山上徹也容疑者
12:41～ ハンディカム の映像	男が取り押さえられた時の映像 撃たれた当時の現場の映像。SPとみられるスーツ姿の男たちに取り押さえられる山上容疑者の映像 道路上の映像 銃のようなものは確認できないなど、映像を見ながら記者とアナウンサーが状況を説明
12:48	首相官邸中継 松野官房長官 「先程11時30分頃奈良県において安倍元総理が銃撃を受けました。撃つたとみられる男1名の身柄を確保しています。安倍元総理の容態は現在のところ不明でありひきつづき確認中であります。政府においては11時45分官邸危機管理センターに官邸対策室を設置をしこのあと関係省庁による会議も開催し対応にあたっています。遊説中の総理には直ちに報告を行いました。総理はこのあと官邸に緊急に戻られます。また応援演説などで各地にいる閣僚については直ちに東京に戻るよう指示を出しました。いかなる理由であれ今回のような蛮行は許されるものではなく断固非難します。政府としては各種の対応に万全を期してまいります」
12:52	徳丸記者解説 政界からの反応 公明党石井幹事長「あってはならない事態で驚愕した。安倍氏が無事であることを心からお祈りする。絶対に許すことができない行為であり背景を含め徹底的に調べてもらいたい」

	<p>野党立憲民主党小川政務調査会長「被害にあわれた安倍元総理の無事とご回復を心より祈りたい」</p> <p>日本維新の会の足立康史氏「速報に接し茫然とするばかり。なんとか命をとりとめてほしい。祈ることしかできない」</p> <p>共産党小池書記局長「暴力は絶対に許されない。安倍元総理の無事をお祈りします」</p>
12:56 現場から中継	<p>自民党本部から3回目の中継 小嶋章史記者</p> <p>「先程12時40分頃、安倍内閣で復興大臣を務めた渡辺博道経理局長が入り、記者団にこれから情報収集にあたりと述べました。5分ほど前、細田衆議院議長がこちらに入りました。現時点で情報はないと話していました。松野官房長官も先程記者団に対し安倍元総理大臣の容態は不明だと。岸田総理大臣はじめ、閣僚は全員東京に戻ると明らかにしました。茂木幹事長は新潟から飛行機で大阪に向かっていきます。党幹部は今のところ各地で講演を行っています。安倍元首相は、党内最大派閥安倍派の会長であり、岸田総理と同様で各地で応援にあたりしている。党内でも人気のある応援弁士の一人。今回の事案については与野党を問わず暴挙である、民主主義への挑戦だ、言論封殺は許されることではないという反応が入っています」</p>
12:57	<p>金子晃久記者 NHK奈良「奈良市大和西大寺駅北口です。事件が発生してから約1時間半がたちました。現在も駅の周辺は人だかりができていて騒然とした状況が続いています。わたしの奥のほうでは警察による現場検証が続いています。また、上空にはヘリコプターが事件発生直後からしきりに飛んでいまして騒然とした状況が続いています。午前11時半ごろ奈良市大和西大寺駅近くで安倍元総理大臣が血を流して倒れました。現場では銃声のような音が2度鳴りました。安倍元首相は演説中でした。事件を目撃したという20代の男性は演説中にパンという音と衝撃を感じた。その後、安倍首相が倒れるのが見えたただただ驚きましたと話していました。」</p>
17:46	タイトルスーパー 速報 安倍晋三元首相 67歳 亡くなる
17:49	<p>スタジオキャスターリード 中山里奈アナウンサー（白いインナー、黒ジャケット姿）</p> <p>「自民党幹部によりますと、演説中に銃で撃たれた安倍晋三元総理大臣は治療を受けていた奈良県橿原市内の病院で亡くなりました。67歳でした」「詳しい死因などはまだわからない。」</p>
17:50	<p>VTR（映像は銃撃される直前の演説中の安倍氏）</p> <p>安倍晋三元総理大臣は東京都出身で祖父は日米安全保障条約を改訂した岸信介元総理大臣。父は自民党幹事長や外務大臣を歴任した安倍晋太郎氏です。晋太郎氏の死去を受けて平成5年の衆議院選挙に旧山口1区から立候補して初当選し、第2次森内閣と小泉内閣で官房副長官を務めました。北朝鮮による拉致問題に早くから取り組んでいた安倍氏は、小泉総理大臣とともに北朝鮮を訪れ金正日（キムジョンイル）総書記との首脳会談に立ち会いました。平成15年には、49歳で自民党の幹事長に就任し平成17年の第3次小泉内閣では官房長官として初入閣しました。そして、平成18年に戦後最年少の52歳で総理大臣に就任しました。しかし、平成19年の参議院選挙で大敗し、その後自らの健康状態の悪化もあって、就任から約1年で退陣しました。自民党が野党時代の平成24年に再び自民党総裁に就任し、その後の衆議院選挙で政権を奪還して総理大臣の座に返り咲きました。第二次政権ではデフレからの脱却に向けて経済再生を最優先に掲げ、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の3本の矢によるアベノミクスを推進し経済の活性化に取り組みました。また、上皇さまから天皇陛下への皇位継承にあたっては1代限りの退位を可能とする特例法の整備やそれに伴う改元にも政権をあげて取り組みました。さらに安全保障分野では従来の憲法解釈を変更して集団的自衛権の行使を限定的に容認する閣議決定をしたうえで、安全保障関連法を成立させ、戦後日本の安全保障政策を大きく転換しました。この間衆参合わせて6回の国勢選挙で勝利し安倍1強ともいわれる政治情勢が続きました。一昨年には、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し特別措置法に基づく緊急事態宣言を初めて発出するなど対応にあたりましたが、持病の潰瘍性大腸炎が再発し8月に総理大臣を辞任しました。総理大臣としての連続の在任期間は7年8か月、第一次政権と合わせた通算の在任期間は8年8か月に達しいずれも歴代最長です。安倍氏は去年秋に9年ぶりに出身派閥に復帰し党内最大の安倍派の会長に就任して外交安全保障政策や積極財政の必要性などについて活発に発言していました。安倍氏は今日午前11時半頃、奈良市内で演説中に銃で撃たれ橿原市内の病院で治療を受けていましたが亡くなりました。67歳でした。</p>

17:55	<p>社会部佐野豊記者解説 通報があったのが、午前11時31分。救急隊が午前11時32分に出動しドクターヘリで搬送されて午後0時20分には搬送先の医療機関に到着していた。ということでした。5時間以上にわたって治療が行われたが亡くなった。至近距離で撃たれかなり危険だったことは伺える。</p> <p>政治部 小口佳信記者解説 平成18年に戦後最年少の52歳で首相に就任。「戦後体制からの脱却」を掲げ「改正教育基本法」や「憲法改正」の手続きを定める「国民投票法」などを成立させた実績がある。通算在任期間は8年8か月と歴代最長。</p>
17:58	<p>自民党本部から中継 小嶋章史記者 「党本部は緊迫した雰囲気になっています。党執行部のうち、麻生副総裁や茂木幹事長、福田総務会長、高市政務調査会長らは、党本部で午後4時過ぎからの緊急役員会の後、午後5時過ぎに総理大臣公邸に入りました。同じく公邸に入っていた岸田総理と自民党執行部が対応を今も協議をしています。言論を暴力で封殺する今回の事件について、岸田総理は「卑劣な蛮行だ」と述べました。与野党を問わず今回の事件については民主主義への挑戦で許されないなど非難や批判が相次いでいます。」</p>
17:59	<p>奈良県立医科大学附属病院から中継 佐々木智一記者 「亡くなった安倍元総理がドクターヘリで運ばれた奈良県立医科大学附属病院です。安倍元総理はこちらに心肺停止の状態では運ばれ治療が行われていました。午後5時前、妻の昭恵さんが乗ったとみられる車も病院に到着していました。この後午後6時から病院で会見が行われる予定です。</p>
19:00	<p>(19時の定時ニュースを延長) 瀧川剛史アナ 林田理沙アナ</p>
	<p>アバンVTR 銃声、視聴者による提供映像。 原稿読み「銃声が2回、取材中のカメラが音をとらえていました。容疑者が路上に引き倒され取り押さえられました」 記者のレポート（音のみ）及川佑子記者 「安倍首相が撃たれたか何かです。安倍総理が撃たれたかもしれません」「看護師の方いませんか」の現場の音、救急車が発する映像、銃撃する前の山上容疑者の映像（腕を組んでいる様子） ・午後5時すぎの映像として、山上容疑者の自宅に重装備の警察による家宅捜索が行われる様子が写し出される 病院の会見「午後5時3分に亡くなりました」</p>
19:03	<p>午後7時頃の岸田首相の会見 「先程奈良県立医科大学附属病院から公表されました通り本日午後5時3分、安倍晋三元総理がお亡くなりになりました。どうか一命をとりとめていただきたいと祈っておりますが、祈りもむなしくこうした訃報に接したことになってしまったこと、誠に残念であり言葉もありません。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。民主主義の根幹たる選挙が行われている中、安倍総理の命を奪った卑劣な蛮行が行われた。断じて許せるものではなく最も強い言葉で改めて非難を申し上げます。安倍元総理は憲政史上最長となる8年8か月にわたり内閣総理大臣の重責を担われ卓越したリーダーシップそして実行力によって厳しい内外情勢に直面する我が国を導かれました。我が国が長年苦しんできたデフレからの脱却を目指した3本の矢からなる経済政策、さらには国際情勢が大変厳しい中であって、自由で開かれたインド太平洋の実現に向けた取り組み、さらには平和安全法制の整備など、わが国とそして世界の平和と安定のために努力をされ、その礎を築かれた。このように認識しております。そして、安倍元総理は私にとりましても当選同期であり、国会議員になってからも同僚議員として、また、安倍内閣を支える1閣僚として多くの時間を共にしたよき友人でもありました。この国を愛し常に時代の一步先を見通しこの国の未来を切り開くために大きな実績を様々な分野で残された偉大な政治家をこうした形で失ってしまったこと、重ね重ね残念でなりません。安倍元総理の残された様々なご功績に敬意を表し心から哀悼の意を表する次第であります。そして、今後の対応ですが明日は参議院選挙の最終日を迎えます。民主主義の根幹たる、自由で公正な選挙は絶対に守りぬかなければならないと思っています。</p>

19：19	<p>・東京渋谷区の安倍元首相の自宅前から中継（東京・渋谷区） 政治部山田康博記者 「先程、安倍元首相が亡くなったことが伝えられると午後6時半頃には、花束を持った男性が入ったほか、自宅前で手を合わせたり花を手向けたりする通行人の姿が見られるなど慌ただしい様子となっています。普段は閑静な住宅街なのですが、警戒にあたる警察官が頻繁に連絡をとりあったり、通行人が心配そうな表情で歩く姿も見られました。近所に住む30歳代の男性は、ニュースを見て心配していましたが、亡くなったという知らせを聞いてとてもショックです。日本を背負って立っていた人で近所に住む1人としても親近感があったのでとても残念ですと話していました」</p>
19：21	<p>奈良市の現場附近から中継 金子晃久記者 NHK奈良 「午後5時過ぎに現場周辺の規制が解除されました。（中略）商業ビルやデパートが立ち並び普段は大変人通りが多い場所。演説が始まったのは11時半頃でほどなくして男が後ろから近づき銃声のような音が2発聞こえた後、血を流して倒れたということです。今は国内だけでなく海外のメディアも現場を訪れて取材を続けています。事件発生から7時間以上が経過したが、現在は駅を利用する人が足早に通り返っていく様子が見られます」</p>
19：22	<p>現場にいた及川佑子記者がNHK奈良のスタジオ出演 サイドスーパー 「現場で取材していた記者は」 「現場に到着したのは午前11時半前。集まった聴衆から拍手で迎えられ非常に和やかな雰囲気の中会場入りした。安倍元首相の前、2～3名が演説した後、安倍元首相が演説を始めたのが11時半ごろ。演説が始まってほどなくして、1発目のどんという大きな音が現場に響き異変を感じた。車も通っていたので、車のタイヤがパンクしたのではという錯覚をした。ところが音の方向に目を移すと立て続けに音がした。容疑者が立って路上で組み伏せられた。この時、何か事件が起きたのだなと感じた。正直、音となった方向を見ていたのでその時安倍元首相の状況は確認できていない。音が2発なって何か起きたと思っって視点を戻すと、そこで、安倍元首相が撃たれたことに気が付いた。その後、周辺の関係者たちが救急車を呼ぶ声、医療関係者への助けを求める声などがあちこちから起こり騒然となった。」</p>
19：25	<p>Q容疑者が取り押さえられた様子について 映像は黒い筒状の凶器のようなものの接写 「すみません、それほど詳しく覚えていない。気づいたときには、路上に立っていた。筒状のものを持って立っていた。白い煙のようなものも確認できた。その後すぐに取り押さえられた。特に声などはなかった。」</p>
	<p>Q周りの人たちの様子は？ 「非常に動揺していたと思う。陣営の関係者の中には驚きのあまりなのか叫ぶ方、涙を流している方がたくさんいらっしゃいました。聴衆、演説を聞きに来た一般の方も大変なことが起きたのだからかと次々と集まりざわついた状況でした」</p>
	<p>Q事件の受け止めは？ 「たくさん関係者とも話したが、皆さん一様に許されることではないと話していた。わたしもその通りだと思う。主義主張や政策にかかわらず決してこういうことは起きてはいけないと強く思います」 ここまで及川記者と瀧川アナの掛け合い</p>
19：33	<p>政府は午後4時半から約20分間、岸田首相や閣僚が出席して会議を開き今後の対応を協議した。岸田首相は2日後の参議院選挙を控え「民主主義の根幹である選挙を控え、閣僚らの警護・警備を強化してほしい」と述べた。 二之湯国家安全委員長は、警察庁の中村長官に対し閣僚ら要人の警護、徹底を指示しました。安倍元首相は昨日までで、18都道府県40か所以上で遊説。関係者によると、今朝奈良県に入り街頭演説を行ったあと、京都府に入り夕方には埼玉に入る予定でした。安倍氏は当初今日は、長野県入りの予定だったが、各地の選挙情勢などを踏まえ日程を変更した</p>

19：37	<p>山口県下関市の党本部前から中継 長野 亮記者</p> <p>「事務所の入り口のシャッターが閉まり人影はありません。昼間は後援会の方や地元の秘書、地元の地方議員がつめていました。亡くなった1報はテレビの速報で知ったということです。皆さん報道陣に答えることはなく、沈痛な表情だった。伊藤（昭雄）後援会長は目に涙を浮かべながら「残念でならない。まだまだこれからも我が国に必要な人材だと期待をしていた。本当に大事な人を亡くしました」と話してくれました。</p>
19：39	<p>政界の反応 自民党茂木委員長 インタビュー29秒</p> <p>「我が国の総理、我が党の総裁として強いリーダーシップを発揮され、内政外交に大きな成果を残した。民主主義の根幹たる選挙が行われている最中（さなか）に今回のテロ行為は民主主義に対する挑戦であり断固、強く抗議をいたします。」</p>
	<p>公明党山口代表 インタビュー 22秒</p> <p>「このような結果になったことは激しい憤りを感じております。このような暴挙を断じて許してはならない。こうした言論封殺をはねかえし民主主義の本来のあるべき姿を示していきたい」</p> <p>立憲民主党泉代表 インタビュー 24秒</p> <p>「安倍元総理が凶弾に倒られ命を落とされました。心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、このようなテロ行為が我が国で発生したことは許されないことであり断固として非難をしたい」</p> <p>日本維新の会 馬場共同代表 インタビュー 19秒</p> <p>「ユーモアもある。ウイットに富んだ会話もよくしていただいた。日本の国にとってご貢献いただいた稀有な政治家である。国益を逸した、非常に残念」</p> <p>国民民主党 玉木代表 インタビュー 18秒</p> <p>「民主主義に対する重大な挑戦であり脅威。我が党としても強い怒りと悲しみを持って非難をします。」</p> <p>共産党 志位委員長 インタビュー 18秒</p> <p>「安倍さんと私とは政治的立場は異（こと）にしていますが、同じ年に生まれて当選も同期、同時代をともに生きた者として大変悲しく寂しい</p> <p>れいわ新選組 山本代表 インタビュー 18秒</p> <p>「自分の中で整理がつかない。言論というものに対して暴力で封じようとするというものに対しては徹底的に私たちは抗っていかないといけないということを誓うしかない」</p> <p>社民党 福島党首（自らのツイッターに）</p> <p>「安倍元総理が亡くなったという報道です。改めてテロに強く抗議します。心から哀悼の意を表します」と投稿</p> <p>NHK党 立花党首（NHKの取材に対し）</p> <p>「本当に残念でならない。安らかに眠ってほしい」と述べました。</p>
19：41	<p>41歳の容疑者の供述</p> <p>スタジオリード「安倍元総理大臣に対して不満があり殺そうと思って狙った。」という趣旨の供述をしているということです。</p> <p>★サイドスーパー 容疑者は元海自隊員</p> <p>「このあと銃声がします」</p> <p>「撮影視聴者」の映像</p> <p>「腕組みをして周囲を見渡すような動きをみせる容疑者。演説が始まる際は、安倍元首相のすぐ後ろに立っていました。拍手をしている様子もみえます。演説開始から1分あまりが経った頃、安倍元総理大臣に近づくように歩きます。そして、</p> <p>★銃声2発</p> <p>銃声のような2発の大きな音、容疑者は道路上でSPとみられるスーツ姿の男性にとりおさえられました。」</p> <p>犯行に及ぶ容疑者の様子を多くの人が目撃していました。</p>

<p>19：43</p>	<p>★顔なしインタビュー 「歩いてきてばんばんて2回撃ってすぐ取り押さえられた。何も言わず撃つときは立ち止まった」 男性 「望遠つきのカメラと思ったらバーンと音がしたんでおさえて、別の警官がそれをけとばした」 男性 「逃げるそふりはまったくなかったですね。撃った後も、落ち着いていた」 殺人未遂の疑いで逮捕されたのは、奈良市に住む職業不詳の山上徹也容疑者、防衛省関係者によりますと2005年までの3年間、海上自衛隊で勤務していたということです。警察によりますと、調べに対し「安倍元首相に対し不満があり殺そうと思って狙った」という趣旨の供述をしている一方で、「政治信条への恨みではない」とも供述しているということです。</p>
<p>19：44</p>	<p>午後5時過ぎ、奈良市内にある容疑者の自宅マンション前です。防弾チョッキやヘルメットを身に付け、盾を持った警察官たちが捜索の準備を始めました。 ★警察官ノイズいかし 「最悪の事態を想定して爆発物処理装備をして上がります。安全確認ができれば本捜索が始まるという段取りになります」 同じアパートに約10年住んでいるという男性は・・・ 男性インタビュー 顔なし映像 「ニュース見てるけど、びっくりするね、すれ違うぐらいだから。どんな感じの人かはわからない」 警察によりますと、容疑者の自宅からは爆発物の可能性のあるものが見つかったということで周辺にいる人に離れるよう呼び掛けています。警察は爆発物の処理にあたる車両で発見されたものを運びだして確認を進めるということです。</p>
<p>19：45</p>	<p>犯行には手製の銃が使われたとみられています。 ★記者による電話インタビュー 「大きい音でバン、本当に爆弾が爆発したかと思った、正直。すごい音だった。破片、何かプラスチックの筒か何かそんな塊くらいのもんですね」 事件発生直後には、黒いテープのようなものが巻き付けられた筒状のような物が落ちていたのが写っていました。散弾銃などについて詳しい大日本猟友会 佐々木洋平会長は次のように話しています。 大日本猟友会佐々木洋平会長インタビュー」 「パンパンという音が聞こえたというので、これはもしかしたら、散弾銃ではなくピストル、もしくは改造銃じゃないかなという思いがした。煙が出た、バアッ。これは我々の散弾銃じゃないことがすぐにわかった。手作りでできた感じ」</p>
<p>19：46</p>	<p>元総理大臣が選挙演説中に銃撃され死亡するという前代未聞の事件、警察長は当時の警護状況について奈良県警察本部の警備部参事官をトップとする体制がとられ、現場には奈良県警察官と警視庁のSPがいたということです。具体的な人数などについては明らかにしていません。その上で警察庁は「警護の体制が十分だったかどうか先ずはしっかり確認する必要がある」としています。</p>
<p>19：47</p>	<p>【資料VTR】金丸信 政治家などの要人がけん銃などで狙われる事件は、過去にも起きています。 平成4年には、当時の金丸信自民党副総裁が栃木県内で講演を終えた際に右翼団体の一人に拳銃を発射されたほか、 【資料VTR】細川護熙 平成6年には細川護熙元総理大臣が東京新宿区のホテルで右翼団体の元メンバーの男に拳銃を発射されるもいずれもケガはありませんでした。</p>

	<p>【資料VTR】本島等長崎市長 伊藤一長長崎市長 平成2年には、当時本島等長崎市長が右翼団体の男に拳銃で撃たれて大けがをした他、平成19年には長崎市長選挙で4期目を目指していた、当時の伊藤一長元長崎市長が暴力団員に拳銃で撃たれて死亡しました。</p> <p>【資料VTR】圀松孝次警察庁長官 さらに平成7年には、当時の圀松孝次警察庁長官が、自宅マンションの前で拳銃で撃たれて大けがをしています (スタジオ)では、容疑者が移送された奈良西警察署から中継です。</p> <p>【奈良西警察署から中継】大野敬太記者 奈良西警察署です。容疑者はこちらの2階で取り調べを受けているものとみられます。調べに対し安倍元総理大臣に不満があり殺そうと思って狙ったという趣旨の供述をする一方、政治信条への恨みではないとも供述しているということです。また、警察は、奈良市内の容疑者の自宅を捜索していますが、爆発物のようなものが見つかっていて容疑者は、拳銃や爆発物をこれまでに複数製造したと供述しているということです。発砲は安倍元首相が演説を始めてすぐに起きたとみられています。安倍元首相が演説に訪れることは昨日急遽決まりその後、一般市民向けに街宣車などで周知していたということです。警察は発生当時の状況や詳しいいきさつを調べています。</p>
<p>19：50 元警視庁SAT 伊藤鋼一氏に よる解説</p>	<p>(スタジオ)スタジオには、警視庁警備部の特殊部隊で長年警備を担当し多くの要人の警備にあたってきた伊藤鋼一(いとうこういち)さんにお越しいただきました。 紹介スーパー 元警視庁SAT 伊藤鋼一さん 米大統領などの国賓も警護 左サイドスーパー 安倍元首相撃たれ亡くなる 右サイドスーパー 解説 警備の専門家に聞く Q選挙選の最中に決してあってはならない事件が起きてしまいました。警備の専門家としてはどのようにご覧になっていますか。 「警備は100%でなければならない。1%のミスも許されない。今回どのような警備体制をとっていたのかは、これから検証して明らかになっていくと思いますが、残念な結果です。」</p>
	<p>Q映像を見ながら(容疑者が取り押さえられる映像) 「本来警備の体制は、SP、所轄の警察署、私服の刑事などを多く配置してあらゆる角度から警備している。要人警護の重要なところは「見せる警備」。直近には警察官は立たないですけれども制服警察が至るところで警戒している。その中で挙動が不審、動きがおかしい、大きなバッグを持っているなど色々考えて警察官はそこで職務質問するのはなく、排除をしてから必ず質問して検査するのが鉄則。今回見た限り、犯人がバッグを持ちながらウロウロしている。直線的に対象者に向かっている。ということを見ると非常に抜けがある。要は警察官同志の連携ができていない。統率をしている現状の警備本部が立っていると思う。そこにはおそらく、そこを管轄する警察署長が陣頭指揮をとっているはず。いろんな情報を警戒員から得て情報を流している。そしたら、こうした不審者がいれば警察官が対処するというのが常識。</p>
<p>19：52</p>	<p>Q容疑者のどの辺の動きが不審か？ 対象者に対して直線的に向かっていく(まっすぐに向かっていく)。それと、警護をしているSP、警視庁のSPであれば目を見ればわかる。不審なのかどうか(表情から)。ですから、警視庁のSPもいるのですが、そこまでは把握できなかった。外部の警戒は奈良県警に依存していたということがあるんでしょうね。 Q事件を防ぐことはできなかったのか？ 重要なところは、いろんな部署から集められた情報を統合する、そういった警備本部がきちんと情報を流してそこにいろんな可能性があれば、1%でもあれば必ず排除するというのが重要。 Q目撃者の話からかなり大きな物、手製の銃を持っていたという話がありましたがそういったところからも不審だとわかるのですか？ バッグを持ってうろろしていますよね。あれは、ほとんど、私から見れば不審。私服の刑事が排除すべきだった。</p>

	<p>Q有権者の近くで話す状況は警備体制に影響したか 今は選挙期間中であっても要人の演説している場所では「見せる警備」が重要。警視庁であれば、管轄する警察署長だけではなく機動隊員も前線で待機をして何かがあれば対応をしていく。公安部の刑事も現場に投入されているのでいろんなことを想定しながら警備をするのが本来の姿</p> <p>Qこれまでも政治家などの要人を狙った事件は起きていますが今回の事件を受けて、今後何が求められるか 組織の全体としてきちんと警備をしていく、情報を共有しながら、いろいろな部署の者が一つの目的にむかって一致団結することが重要。</p> <p>Q背後から狙われていることについてはどうか 私が考えるのに、交通規制をしていない。背後に制服の警戒員が必要だったというのが見えてくる。動きがあれば例えば、高所に警戒員を配置して人の動きを見ている。そういった時に必ず報告する。そしたら、いろんな部署から集まっている警察官がその者に対して排除していくのは常識。犯罪発生後、犯人は爆薬を持っているかもしれない。ここにいる一般市民を遠ざけることも必要だった。</p>
<p>19：57</p>	<p>(スタジオ) お伝えしていますように奈良市で演説をしていた安倍元総理大臣が男に銃で撃たれ病院で治療を受けていましたが、亡くなりました。逮捕された41歳の容疑者は安倍元総理大臣に対して不満があり殺そうと思って狙ったという趣旨の供述をしている一方で元総理の政治信条への恨みではないとも供述しているということです。</p>
	<p>【振り返りVTR】 (奈良大和西大寺駅付近きょう午前 安倍首相が会場入りする映像) 参議院選挙の投票日を明後日に控え、候補者の応援演説に駆け付けた安倍元総理大臣。NHKの記者が撮影した映像です。 (このあと銃声がします テロップ) 大勢の人たちが耳を傾けていたその時。 ★銃声 2回 銃声のような2発の大きな音。男が道路上でSPとみられるスーツ姿の男性に取り押さえられています。 記者レポート(音のみ) 及川佑子記者 「安倍総理が撃たれたか何かです。えっと、目の前で今撃たれたかもしれません。えっと、今何が起きたのかかわからないです。発砲音がしたんですけれども。」 突然の事件、現場に衝撃が走りました。 男性インタビュー 「火花だと思った。1発目ドーンなってもう1回ドーンなった。そしたら犯人らしき人がピストルではなく大きいようなものを持っておられて、すぐSPみたいな人が、ぶわーって走って4～5人でつかまえた。びっくりした」 近くの路上には黒いテープのようなものが巻き付けられた筒状の銃とみられる物が落ちていました。手製の銃だったとみられています。 現場ノイズ 拡声器からの音「お医者さま、看護師の方いませんか。助けてください。AEDすぐに持ってきてください」 映像には集まった人たちが心臓マッサージをしているような様子も。 安倍元総理大臣は担架に移された後、救急車に運びこまれました。 安倍元総理大臣を銃で撃ったとされるのは現場にいた職業不詳の山上徹也容疑者、その場で逮捕されました。容疑者と見られる男の姿を事件の前から多くのカメラがとらえていました。候補者の選挙カーが到着する直前、歩道の最前列で腕組みをして待っているところ。別の映像では、安倍元総理大臣の演説を見ている様子も。 さらにこちらの映像は発砲の瞬間を捉えていました。演説する安倍元総理大臣。画面の右。 斜め後ろから男が近づき、1発目を発砲。あたりに白い煙が立ち込めます。安倍元総理大臣が演説をやめて振り向いたところ2発目を発砲。安倍元総理大臣は倒れ多くの人が駆け寄っていました。</p>

	<p>撮影した人の話（音声のみ）</p> <p>「爆発したなという感じ。銃とは思わなかった。煙がぼんぼんと2回くらい出たので爆発したものが飛んできたと思って、破片が飛んで来たので。大きい音でボカンボカンというた」</p>
20:00	<p>（空撮映像 正午頃）</p> <p>救急車が出発する映像</p> <p>安倍元総理大臣は、首の右側に傷や出血、左胸に皮下出血があり心肺停止の状態になりました。現場から救急車で搬送された後、ドクターヘリで奈良県橿原市の県立医科大学附属病院に移されました。</p> <p>（昭恵夫人の映像 奈良橿原 午後4時半頃）白い半袖のグレーのワンピースに白いマスク姿</p> <p>発生から約5時間後妻の昭恵さんが橿原市に電車で到着しました。警察官に囲まれ何も語らず俯きながら車に乗り込み安倍元総理大臣が治療を受けている病院に向かいました。</p> <p>（容疑者の自宅の捜索 午後5時頃）地上からの映像と空撮による捜索映像</p> <p>同じ頃、奈良市内にある山上容疑者の自宅マンションには警察が捜索に入りました。爆発物処理にあたる警察官10人程が防弾チョッキやヘルメット、盾などの重装備で建物の中に入っていました。防衛省関係者によりますと容疑者は2002年から2005年までの3年間、海上自衛隊の広島県呉地区の舞台で勤務していたということです。警察によりますと調べに対し「安倍元総理大臣に対して不満があり殺そうと思ったという趣旨の供述をしている一方で政治信条への恨みではないとも供述しているということです。また、拳銃や爆発物をこれまでに複数製造していたと供述しているということです。容疑者の自宅からは爆発物の可能性のあるものが複数見つかり警察は処理にあたる車両で運び出すとともに確認を進めています</p> <p>（安倍元首相演説映像 撮影視聴者）</p> <p>当時の警護の状況はどうなっていたのか。警察庁によりますと奈良県警察本部の警備部参事官をトップとする体制がとられ現場には奈良県警の警察官と警視庁のSPがいたということです。警察庁は「警護の体制が十分だったかどうかしっかりと確認する必要がある」としています。</p>
20:03	<p>（病院外観映像）</p> <p>病院で治療を続けていた安倍元総理大臣。亡くなったことを午後6時前、自民党幹部が明らかにしました。警察は今後殺人容疑で詳しいいきさつを調べる方針です。</p> <p>（病院の記者会見午後6時頃）病院は午後6時から記者会見しました。首に2か所の銃創があり傷は心臓に達する深さで失血死だったということです。</p> <p>「蘇生措置をしたが残念ながら午後5時3分にお亡くなりになられました。救命の状態は銃創ということでかなり厳しいと予測されました」</p>
各地で号外が配布される映像	<p>安倍元総理大臣が撃たれたことを受けて各地で号外が配られました。</p> <p>（神戸 沖縄 新聞の号外が配られる映像）</p> <p>ノイズ「号外です」神戸、沖縄、東京（読売新聞）</p> <p>号外を受け取った人のインタビュー（山口・下関）</p> <p>「イベントごとでよく見かけていて下関に対してよく思ってもらっていたというのはすごく感じていたのですごく悲しい」「残念です、地元に大きな功績を残された」「びっくりしています、本当に許せない。言論で弾圧するというのは」</p> <p>これまで2回にわたって市長が銃撃された長崎市では</p> <p>「長崎でも伊藤市長が撃たれて亡くなったという例があったのでまた同じことが起きたのかな」</p> <p>「思い出した、伊藤市長の事件を。怖い」</p>

	<p>安倍元総理大臣が撃たれた現場は奈良市の大和西大寺駅の出口近くでした。東側には世界遺産の平城宮跡があり駅は奈良と大阪を結ぶ路線と、奈良と京都を結ぶ路線とが交わり多くの人が通勤と通学で利用している駅です。</p> <p>現場はこの駅の北出口から約50mの交差点。午前11時頃から参議院選挙に立候補している自民党の候補者の街頭演説が行われていて安倍元総理大臣は応援弁士として駆け付け午前11時半前から聴衆を前に演説を始めました。そして背後から男に銃で撃たれました。銃声は2回聞こえました。男は安倍元首相がいた場所のすぐ南側の交差点の路上でSPなどに倒されその場で取り押さえられました。</p>
20:05 経済界の反応	<p>経済界の反応です。</p> <p>経済同友会 櫻田 謙悟代表幹事インタビュー 「悲しいと同時に悔しいし怒り。G7では、時によって最も影響力のあるリーダー。経済外交含めて傑出したリーダーの一人だったことは間違いない。」</p> <p>経団連 十倉 雅和会長コメント 「内政では『アベノミクス』を推進し力強い日本経済の復活を成し遂げ外交面では『地球儀を俯瞰する外交』で国際社会における日本のプレゼンスの向上に貢献した」と評価しました。</p> <p>その上で「我が国の憲政史上最も傑出した首相の一人だった。心よりご冥福をお祈りいたします」と、悼みました</p>
20:07 拉致被害者家族からの反応	<p>拉致被害者の家族からは</p> <p>市川修一さんの兄 市川健一さんインタビュー 「一生懸命 私たちに寄り添ってともに闘ってくださったが今回このような形で亡くなるとは夢にもおもわなかった。こういう事があっていいものだろうか、蛮行は絶対許してはいけない」</p> <p>有本恵子さんの父親有本 明弘さんインタビュー 「安倍さんは精一杯やった。安倍さんは亡くなったがあとに残った人が遺志を継いでこれからの政治家に残された仕事だと思う」</p> <p>横田めぐみさんの母親早紀江さん 「あまりにも恐ろしいことが起き非常に悲しく打ちのめされています。安倍さんは拉致問題を解決したいと長い間言い続けアメリカをはじめ各国に対しても協力を得ようと頑張ってくくださった。亡くなられたのは残念でなりません」</p>
海外からの反応	<p>世界中のメディアも速報で伝えています。</p> <p>アメリカabc 「安倍元首相が白昼撃たれて亡くなった。」</p> <p>中国CCTV 「最新のニュースによると演説中に銃撃された安倍元首相が亡くなった」</p> <p>韓国KBS 「安倍元首相がきょう撃たれて亡くなった。突然のニュースに日本中が衝撃を受けている」</p> <p>各国の首脳や要人からは・・・</p> <p>イギリス ジョンソン首相 ツイッター 「信じられないほど悲しいニュースだ。彼のリーダーシップは多くの人の記憶に残るだろう」</p> <p>インド モディ首相 ツイッター 「悲劇的な死去に言葉にできないほどの衝撃と悲しみを受けている。安倍氏は世界有数の政治家であり卓越したリーダーだった。私たちはこの困難なときに日本人たちと連帯する」</p> <p>ロシア プーチン大統領 コメント 「日本政府を長く率い 両国関係の発展に尽くした偉大な政治家の命が犯罪者の手によって奪われた。安倍元首相の記憶は彼を知るすべての人々の心の中に永遠に残るだろう」</p> <p>G20主要20カ国の外相会合が開かれているインドネシアで行われた日米韓外相会談ではアメリカ ブリンケン国務長官 「お悔みを申し上げる。安倍元首相は日本と日本国民にとって偉大な指導者だっただけでなく世界的にも尊敬されていた」</p>

	<p>韓国 パク・チン（朴振）外相 「この銃撃事件をいかなる場合であっても容認できない暴力的な犯罪として非難する。」 G20外相会合議長国 インドネシア ルトノ外相 「この悲しみの時にインドネシア政府と国民は日本の政府と国民に深い哀悼の意とお悔みを申し上げたい」 中国北京、韓国ソウル、台湾台北から中継 北京 中国総局 藤田正洋特派員 「東京にある中国大使館は哀悼の意を表すとともにご遺族にお悔みを申し上げるという報道官のコメントを発表した。中国でも衝撃や驚きを持って国営メディアが速報や現場からの中継を伝え関心の高さが伺える。中国政府は安倍元首相が在任中に中国との関係を改善したことを高く評価していました。中国外務省の報道官も両国の関係を改善と発展に貢献したと認識していると述べています。安倍氏は首相就任後初めての外遊先に中国を選び政権発足後10日余りで訪問し、それまで途絶えていた首脳会談を実現した。首相の座にかえりざいた後も尖閣諸島の国有化など戦後最悪と言われた日中関係を改善。ただ、辞任後、靖国神社の参拝に反発したほか、台湾を巡る発言に神経をとがらせていた」</p> <p>ソウル支局長 青木良行特派員 「韓国大統領府によるとユン大統領は妻の昭恵さんに弔電を送り遺族と日本の国民に対して哀悼の意を伝えた。公共放送のKBSは午後のニュース番組で大きく伝え午後5時には東京駐在の特派員が『影響力のある政治家が襲われた事件に日本全体が大きな衝撃を受けている』と伝えていた。有力紙の朝鮮日報は『安倍氏は日本の保守政治の精神的支えだった』としている。日韓の歴史問題を巡り安倍氏は今年4月、『慰安婦問題をめぐる2015年の日韓合意の履行を求めていた』。安倍氏は日韓関係が良かった時代に戻りたいと話していたとも伝えた」</p> <p>台北支局長 達 健雄特派員 「台湾総統府の報道官は蔡英文総統が最も深い哀悼の意を表している。国際社会が重要なリーダーを失い台湾も重要な親友を失ったというコメントを発表。野党からも哀悼の意の発信があった。安倍氏は在任中国会で『価値観を共有する重要なパートナー』だと答弁したり退任後も『台湾有事は日本有事だ』と発言したりしていたので台湾に非常に友好的な政治家と見られていた。台湾メディアも各社一斉に報じ事件発生直後から大々的に伝えた。台湾では今月下旬にも安倍氏を招待する動きがあった。中国の圧力に晒される中、有力な支持者を失ったと受け止められている」</p>
<p>20：15</p>	<p>政界の反応 政治部 太田雅志記者 「前代未聞の事態に衝撃が走った。岸田首相は民主主義の根幹である選挙中に行われた卑劣な蛮行であり断じて許されるものではないと強く非難。各党の幹部からも選挙期間中の街頭演説で起きた暴挙に対して多くの憤りの声が上がった。暴力で言論を封殺する行為は民主主義への挑戦であり許されないというのは与野党を問わず共通の思い。岸田首相は閣僚に警護の徹底を指示した。」</p> <p>Q 政界への影響は？ 「党内の実力者だったので影響は少なからずある。安倍元首相は第1次・2次通算在任期間8年8か月と歴代最長。去年秋9年ぶりに出身派閥に復帰し党内最大派閥安倍派の会長に就任。外交安全保障政策や、積極財政の必要性などについて積極的に発言してきた。路線の違いもあり先月岸田内閣が骨太の方針をとりまとめた際岸田首相は配慮した」</p> <p>参議院選挙の投票は明後日に迫り、各党の幹部は全国で支持を呼び掛けていた。安倍元首相は先月22日以降、遊説に訪れたのは18都道府県40か所以上（～きのう）安倍派の関係者によると今朝奈良県に入りその後京都で街頭演説を行い夕方には埼玉に入る予定だった。当初今日は、長野県に入る予定だったが各地の選挙情勢を踏まえて日程を変更。</p>

5-4 在阪民放テレビ局在籍報道局員からの聞き取り

①事件の1報について

1報はNHKのニュース速報。この日は取材デスクだった。昼のローカルニュース放送中に、SNSをチェックする専従スタッフから「近鉄西大寺駅前北側、けが人一人高齢男性」という情報が入った。近鉄西大寺駅は選挙の街頭演説でよく使われる場所で、参院選の前々日ということで選挙戦の終盤で各党ともに追い込みをかけていた時期。「選挙がらみの事故か事件かな」と思った。しかし、この男性がまさか安倍氏だとは思わなかった。そのタイミングでNHKのモニターには「大和西大寺駅前で安倍元首相撃たれる」との表示。NHKの速報の瞬間、この男性が安倍氏ということが判明。

広い報道フロアに「大和西大寺駅で安倍さんが撃たれた、手のあいている記者とカメラマンは全員出動」という指示を出した。その瞬間、東京キー局から入電。「中継できますか」など矢継ぎ早に質問の攻勢があった。

②追われるファクトチェック。

奈良の銃撃現場は大阪から車で1時間前後かかる場所。通常、在阪民放テレビ局が所有するヘリコプターは八尾空港でスタンバイ。ヘリに現場に出よう指示を出した。ファクトチェックすべく、所轄の警察と消防、県警本部にひたすら電話するが、全社同時に電話をかけているのでつながらぬ。現場と所轄警察署に記者とカメラマンが本社から向かうが1時間はかかる。現場の映像もない。1報が最も速かったNHKは、選挙報道取材のため現場に記者がいたことが判明。

③ヘリコプターの空撮映像から始まった放送

ヘリが現場に到着したのが12時頃。それと同時に東京キー局の判断で昼の通常番組を断ち切り、ブレーキングニュースで事件報道を開始。他局も横並びで緊急放送。

④事件当日の深夜まで切れ目なく続いた放送

特番体制となり、夜のニュース番組まで、放送は切れ目なく続いた。情報の集約、映像の使用許諾など、本来指示を出す立場の間人は4～5人は必要な局面だった。時間の経過とともに役割分担の住み分けができるようになった。素材はスルーですべて東京キー局に行くようにしていたのでVTRは東京の局で作ることができるようになっていた。しかし、基本全ての中継は大阪の担当。昼ニュースが終わって、ブレーキングニュースから特番、昼のワイドショー番組へと移行。その頃になり自社でもVTRを作る余裕がでてきた。それまでは、ひたすらライブ映像での放送。記者の現場到着は12時40分～50分くらい。なお視聴者撮影の犯行映像が多数あったことが今回の大きな特徴。次から次へと入稿される映像の使用の可否について慎重かつ的確な判断が必要だった。例えば安倍氏が2発目を撃たれて倒れる瞬間の映像は視聴者撮影のものがあつたが、衝撃性を考慮し放送では使用しなかった。銃撃現場、奈良県橿原市の県立病院、容疑者の身柄が入った所轄奈良西警察署、銃を作っていた山上容疑者の自宅（家宅捜索）など、時間の経過とともに中継箇所も増えていった。系列局から応援のクルーも来た。岸田首相や政治家、各党党首の反応なども続々と東京から入ってくるようになった。菅前首相や松野官房長官が奈良に向かっているという情報もあり、東京と連携して取材。

⑤妻昭恵氏の取材について

議員などの公人でもない、一私人。元首相の妻をカメラで追い回すことはしなかった。

⑥徐々に明らかになる容疑者についての情報

山上容疑者が元自衛隊員だということは、防衛省への問い合わせにより同姓同名同年齢がいるということだったので、ほぼそうだろうと判断。最終的には東京キー局が防衛省ルートで確認した。

⑦複数箇所から続々と入って来る素材の管理

時間経過とともに、SNSの映像をはじめ、東京や安倍氏の地元である山口県などから大量の素材が入稿。早い段階で素材管理の担当者を割り振り、日時や撮影者、使用注意の有無、映像の加工（モザイク）が必要かどうかを判断した。

⑧安倍氏死亡の後の取材体制

夜間に取材できることには限りがあったが、銃撃現場や病院などに誰がいつ訪れるのかは不明。病院にはカメラマンと記者にスタンバイしてもらった。司法解剖が終わり翌日の早朝、東京へと移送される安部氏の遺体と昭恵夫人の映像を待った。事件翌日、政治家たちは選挙活動を控えた。日曜の選挙特番については予定通り滞りなく放送できた。

6. 分析

安倍元首相の選挙取材のため記者が同行していたNHKの事件報道が一番早かった。他局がNHKの1報を見て取材を追随することになったことから明らかである。しかし、時間の経過とともに各局横並びでニュースの内容にあまり大きな差がなくなった。これは現場にいた大衆が撮影した「視聴者映像」によるところが大きい。現に多くの大衆が事件を目撃しており、スマホなどで撮影された映像は、今回、大きな役割を担った。そうした視聴者映像を積極的にテレビ局が取り込んだ。

昼から夕方にかけて取材場所も徐々に増えていった。事件現場から安倍元首相は奈良県の奈良県立医科大学附属病院に搬送され、山上容疑者の身柄も所轄の警察署に移された。時間の経過とともに岸田首相をはじめ、与党、野党の政治家らの会見映像、安倍元首相のおひざ元である山口県下関市の事務所映像、過去の銃弾に倒れた犠牲者などの完パケ映像などが入ってくるようになり、その日は夜のニュースまで切れ目なく特番体制がとられた。

銃撃現場の視聴者映像を取り込む形式はNHKを含め各局横並びだった。各テレビ局それぞれに個性が表れたのは、例えば、山上容疑者が「元海上自衛隊」ということを単なる事実として伝えたのか、もしくは、サイドスパーなどにして「速報 元海自の男 銃撃後は“冷静な様子「殺そうと」安倍元総理は心肺停止」（テレビ朝日）のように、何かしらの意味を持たせようとしていたのかなどに現れていた。テレビ朝日では安倍元首相の妻昭恵さんの動向も東京から同行する女性記者によるレポート形式で詳細に伝えられた。駅構内の映像もあり（通常駅構内での撮影は事前に駅を管轄する交通事業者の広報担当者への事前承諾もしくは事前申請が必要）、昭恵夫人の表情、列車内での警察官による警備体制なども伝えられた。一方テレビ朝日とは異なり昭恵夫人の動静については詳細に伝えていない局もあった。

放送内容についても、例えば岸田首相はじめ、複数の政治家が「民主主義の根幹である選挙中に行われた卑劣な蛮行」という言葉を使い暴力による言論封殺、民主主義に対する挑戦だということを明確にメッセージとして伝えた。一方、伝える側のテレビ局は、上記政治家の言葉を引用する形で放送はしたものの、局の姿勢として強いメッセージ性はなく、そうした政治色を帯びたインタビューは選挙運動中を配慮してか、殆ど見られなかった。

山上容疑者の家族や友人、近所に住む隣人などを追い回してインタビューを取ろうとするワイドショーの取材手法も今回あまり見られなかった。

視聴者インタビューについては、事件そのものの残虐性や、目撃情報など、「発生事実」に対するコメントが殆どで、亡くなった安倍元首相に対する政治的賞賛、もしくは批判などは見受けられなかったのも特徴の1つである。

政治家のインタビューについても、参議院選挙を2日後に控え、放送で使用した秒数は20秒～30秒程度と、概ね均等に編集され配慮がみられた。その中身についても故人の政治手法を批判する内容はなく、一様に故人を悼む内容、もしくは、「民主主義に対する許されない暴挙だ」という犯罪に対する非難に集中した内容だった。

7. まとめ

「安倍元首相銃撃される」というニュースは、事件の重大性はもちろん、その衝撃とともに日本国中を駆け巡った。その日のテレビ番組は、事件発生直後からその日の深夜のニュースまで続いた。事件発生当初、「どうか生存してほしい」という多くの国民や関係者の祈りのような番組内容であった。ところが一転、午後5時3分に死亡が確認されると、安倍氏の功績や実行した政策などが振り返り映像として放送された。

安倍氏の死亡が病院で確認されて3時間も経っていない中、更に言うと、安倍氏が存命中に奈良市内で選挙演説をしている時からまだ8時間程度しか経過していない時間軸で、既に専門家らが今回の事件の振り返りをテレビ局のスタジオで行っていることに、一視聴者として違和感とともに衝撃を覚えた。

そして今回の事件で特筆すべきこととして事件現場での視聴者映像がどの局も今回不可欠であったということ。しかし、速報性を求めるあまり、撮影した本人の許諾が事前にとられていたのか、もしくは、事後に取ったのかなど、テレビ局内での課題も多く残されたのではないか。

次に、山上徹也容疑者が、2002年8月から2005年8月まで、海上自衛隊に所属していたことを、執拗に強調する放送局が見受けられたが15年以上も前の過去の職業を明らかにすることで、視聴者に間違ったメッセージを送ることにつながらなかったのか。そこは賛否が分かれるところであろう。一方、今回の一連の報道を分析した中で、評価できた点として、参議院選挙を2日後に控えた選挙期間中ということとどの局も意識していたのか、「政争の具」にしない配慮が見られた点だ。各党首のインタビュー時間、インタビュー内容などからもそのことは伺える。いずれにせよ、今回のような突発的な事件、事故の発生態様で、そのテレビ局の実力は試されることになる。取材方法や、取材態様、素材の伝送方法（現場から局など）、素材管理（次々と入ってくるVTR素材の優劣など）、編成部と報道部との日頃の関係性などさまざまな面で特番の実力というのは伺い知ることができる。皇室の婚礼行事など、予定が立つ特番と違い、今回のような大事件は予見できないため、準備できること、できないことと自ずと限界がある。この日の事件報道について各テレビ局とも後日、振り返りの機会を設けたと関係者から聞いた。「マスゴミ」という言葉が頻繁に使われるようになって久しい。揶揄されたり批判的であるテレビ業界ではあるが、今回の事件報道を通してみると緊急性、緊迫性、重大性を中心に事実を伝える報道姿勢は一様に評価できると考える。